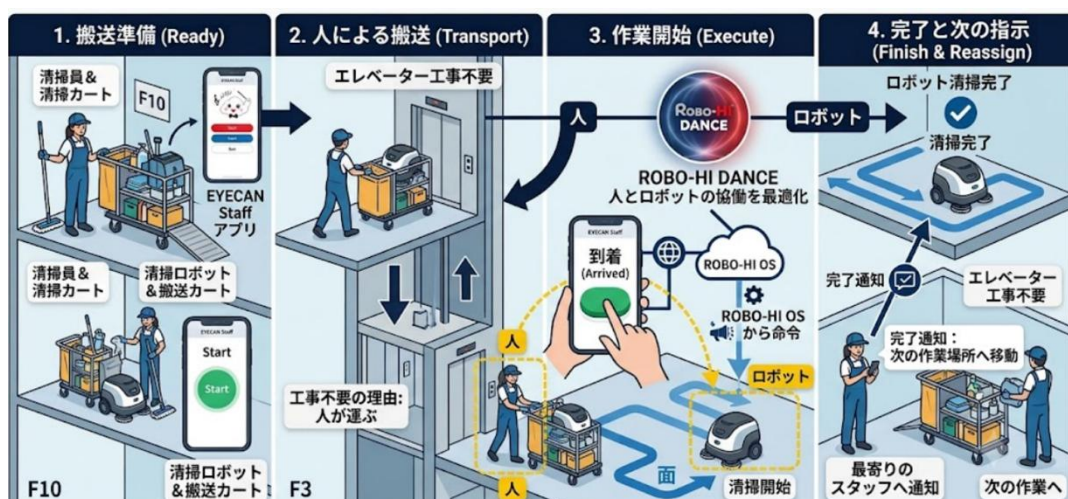




エレベーター工事費不要 清掃員とロボットの最適な協働を実現 新サービス ROBO-HI START 開始

～人の移動サポートとクラウドの自動マップ切り替えで初期費用ゼロのスムーズスタートを実現～

ROBO-HI 株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長：谷口 恒）は、既存のオフィスビルや商業施設において、エレベーターやセキュリティドアの設備改修工事を行わずにロボット活用を可能とする新サービス「ROBO-HI® START（ロボハイ スタート）」の提供を開始いたしました。既存ビルにおけるロボット導入の大きな障壁であったエレベーター改修コストと、現場スタッフによる運用トラブルの課題を解決し、人間とロボットが連携して効率を高める省力化ソリューションを提供します。



既存ビルのエレベーターで人とロボットが目的階に移動、連携して作業を効率化するイメージ

【背景と課題:既存施設におけるロボット導入の「高い壁」】

現在、清掃業務における人手不足解消を目的に、ロボット活用が期待されています。しかし、既存のオフィスビル等への導入においては、以下のような課題が立ち塞がっていました。

1. 高額なインフラ改修費と決裁のハードル

複数階を移動するためのエレベーター連携工事には、莫大な費用と期間がかかります。また、施設管理部門において、高額な初期投資が難しいという課題のお声をいただいております。

2. 現場スタッフによる運用トラブル

ロボットを別のフロアに移動させた際、現場スタッフが手動でフロアマップの設定を変更する必要があり、誤ってマップデータを消去してしまうといった運用トラブルが現場の課題としてよくあることとして伺っております。

【新サービス「ROBO-HI START」の特徴】

「ROBO-HI START」は、ロボットによる完全自動化に固執せず、「人がロボットをアシストし、EYECAN® Staff が人をサポート、ROBO-HI DANCE が人とロボットの協働」という現実的かつ生産性を高めるアプローチでこれ



らの課題を突破します。同時に従来の現場作業のレポートは紙によるアナログであったものが、EYECAN Staff により DX 化されるメリットもございます。

1. エレベーターやセキュリティドアの設備連携工事不要・人とロボの連携による高効率化

フロア間の移動は、現場スタッフが EYECAN Staff の指示通り、ロボットを目的のフロアまで運び、ROBO-HI DANCE によって、ロボットが得意なフロアや通路の面を清掃し、人はロボットが清掃できない端や隅(線と点)を清掃することで、連携し効率を高めていくしくみです。高額なエレベーター連携工事が一切不要なため、初期費用を極限まで抑え、スムーズに運用を開始できます。

2. クラウド連携による「自動マップ切り替え」で誤操作を防止

現場スタッフが EYECAN Staff の指示通り、ロボットを目的のフロアに運び、スマートフォン等の端末で「移動完了ボタン」を押すだけで、自律運用 OS「ROBO-HI OS」が現在の位置情報を認識し、自動で対象フロアのマップに切り替えます。ROBO-HI OS がロボットの全ての制御を行うため、スタッフはロボットの複雑な設定作業から解放され、ミスのないスムーズな運用を実現します。

➤ ROBO-HI OS URL : <https://www.rob-hi.jp/robo-hi>

【期待される効果と今後の展望】

「ROBO-HI START」を活用することで、従来エレベーター連携のコストや運用面からロボット導入を見送っていた既存ビルにおいても、手軽にスモールスタートが可能になります。当社は本サービスを通じて、あらゆる既存ビルの DX 化と人手不足解消をサポートし、人とロボットが共に働く持続可能な社会の実現を目指してまいります。

【技術・サービスの説明】

- **ROBO-HI OS** : 施設・エリア全体を三次元空間として把握、接続されたロボット・人（EYECAN Staff 経由）、設備・IoT 機器を最適にクラウドから遠隔制御する自律運用 OS
- **ROBO HI DANCE** : 人同士、人とロボットの空き時間を最短にマッチングさせるフィールドサービスエンジン
- **EYECAN Staff** : スマホのアプリで、ROBO-HI OS と人とのリアルタイム制御接点であり作業指示だけでなく外国人スタッフが活躍する多言語対応・チュートリアル・ゲーミフィケーション搭載

【お問い合わせ】

ROBO-HI 株式会社 営業部

<https://www.rob-hi.jp/contact/inquiry>

【ROBO-HI 株式会社】

「ロボを社会インフラにする」というビジョンのもと、創業以来培ってきた幅広いロボ技術・遠隔監視/制御技術を基に、世界中のロボが最大限の性能を発揮できる AOS(自律運用 OS)『ROBO-HI® OS (ロボハイ® オーエス)』をスマートシティ・スマートエアポート・スマートホスピタルへと全国展開しています。生活を豊かにするライフモビリティ『RakuRo® (ラクロ®)』、『DeliRo® (デリロ®)』、『PATORO® (パトロ®)』、空港や広い施設で活躍するインダストリアルモビリティ『RoboCar® (ロボカー®)』と、『ROBO-HI® OS』の連携によって省力化・省人化に貢献してまいります。

所在地：東京都中央区晴海 1-8-8 晴海アイランド トリトンスクエア オフィスタワーW 棟 14F

代表者：代表取締役社長 谷口 恒

HP : <https://www.rob-hi.jp/>